

# RAV 大型車用 移動式リフト

大型バス・トラックの整備作業をサポート!! イタリア ラバリオリ社の移動式リフト

■高い安全性・優れた安定性 ■トラック・バス・連節バスに対応! ■設置工事・ピット工事不要!

## RAV241

能力 7.0t×4 電動スクルー方式



■高い安全性・優れた安定性

電動スクルー方式を採用し、万が一の場合でも動作が止まるだけで落下の心配がありません。また、コラム間で確実な同調を行っていますので、リフト間の揚程差は許容値内でコントロールされています。車両の外側からタイヤにリフトのフォークを差し込んで使用しますので、安心してご使用いただけます。



\*リフトは8台まで接続が可能です。

## RAV308HWS

能力 8.5t×4 ワイヤレス仕様



\*上記写真は6本仕様です。

■通信も駆動もワイヤレス

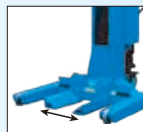
コラム間通信は無線通信で接続し同調を行います。リフトの駆動電源は充電式バッテリーを採用し、使用時の配線は不要です。バッテリーは満充電状態で約20回の使用が可能。\*1 各リフトには充電器が内蔵されています。(バッテリーを使い切った状態から満充電までの所要時間は約10時間です)

\*1 使用回数は目安です。負荷により回数は異なります。

\*リフトは8台まで接続が可能です。

■アジャスタブルフォーク標準装備

RAV308HWSはアジャスタブルフォークが標準装備されています。フォーク幅を調整することでリフトアップする車両のタイヤ外径は500mm~1,200mmの範囲で対応可能です。



アジャスタブルフォーク

# BANZAI NEWS

2019  
Autumn  
312

特集  
BANZAI NEWS

## 「ブランディング」と「Electric Cars (電動車)」(その2)

BANZAI 株式会社 バンザイ

<http://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171  
E-mail: sapporo\_br@banzai.co.jp

東京支店  
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F  
TEL 03-3769-6840  
E-mail: tokyo\_br@banzai.co.jp

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201  
E-mail: hirosima\_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡  
郡山・山形・新潟・長野  
前橋・宇都宮・水戸・埼玉  
千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸  
高松

営業部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6881

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221  
E-mail: sendai\_br@banzai.co.jp

名古屋支店  
名古屋市中千種区青柳町6-26  
TEL 052-732-2600  
E-mail: nagoya\_br@banzai.co.jp

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261  
E-mail: fukuoka\_br@banzai.co.jp

●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・山陰・長崎  
大分・熊本

海外販売部  
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F  
TEL 03-3769-6894

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700  
E-mail: kanto\_br@banzai.co.jp

大阪支店  
大阪市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041  
E-mail: osaka\_br@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001  
自動車整備用部品検査用機器の設計開発販売及びサービス  
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に  
お客様とのきずなを大切に、  
お客様満足度の向上を図っています。





紅葉の袋田の滝 茨城県

茨城県の最高峰八溝山に源を発する久慈川の支流から流れ落ちる名瀑、袋田の滝。山峡に連なる岩盤の上を幾筋もの水流となって流れ落ちるその雄大な姿から、日本三名瀑の一つに数えられています。春の新緑から秋の紅葉、冬は凍結した水瀑を見に、四季折々に大勢の人々が訪れます。

#### ★歳時記

- 10月 14日 体育の日
- 11月 3日 文化の日
- 8日 立冬
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 12月 22日 冬至
- 25日 クリスマス



#### ●目次

- ★特集 “顧客・従業員とのエンゲージメント”にCASE技術の進化・普及をどう活用する?…………… ①  
【第3回】「ブランディング」と「Electric Cars(電動車)」(その②)
- ★モデルショップ訪問【株式会社スズキ自販三重 アリーナ桑名】…………… ⑥  
お客様も待望の明るく清潔感あふれる店舗を実現  
スピーディ・正確なサービスで顧客サポート
- ★モデルショップ訪問【京都スバル自動車株式会社 五条店】…………… ⑧  
大型店舗化により広範な集客効果を得る  
古都・京都にスバル新拠点が誕生
- ★モデルショップ訪問【アサヒオートサービス株式会社 柏工場】…………… ⑩  
食品物流を担うトラックの安全運行をサポート、  
最新のサービス環境で的確なサービスを提供
- ★ショールーム…………… ⑫
- ★ロータリー…………… ⑬

## 特集 BANZAI NEWS

第3回

### “顧客・従業員とのエンゲージメント”にCASE技術の進化・普及をどう活用する? 「ブランディング」と「Electric Cars(電動車)」(その2)



当連載「“顧客・従業員とのエンゲージメント”にCASE技術の進化・普及をどう活用する?」では、各CASE技術の現状を振り返りつつ、それらをどう“顧客・従業員とのエンゲージメント”に活用できるかを考察しています。3回目となる今回は前回に続き、「Electric Cars(電動車)」を自社の「ブランディング」、そして顧客・従業員とのエンゲージメント(強固な結びつき)に活用する方策について考えていきます。



**電動車は燃料・電気代がかからない！ならどうする？**

今回は、カーオーナーの皆さんが電動車に対して抱くイメージが、以下の3つに大別されることをご説明しました。

- ①環境に優しい
- ②ランニングコストが安い
- ③加速がスムーズで力強い

このうち①については前回、現状を確認しつつ、どう自社の「ブランディング」および顧客・従業員とのエンゲージメントに活用するかを考察しました。では、②と③についてはどうでしょうか？

②の「ランニングコストが安い」ことは、結論から言えば紛れもない事実です。

まず、「電動車」が減らせるランニングコストで最もイメージしやすいであろう燃料・電気代ですが、一般的に「ストロングハイブリッド」と呼ばれる、出力・容量の大きい

**同排気量ガソリン車とストロングハイブリッド車とのJC08モード燃費比較**

車名	ガソリン車燃費(km/L)	ハイブリッド車燃費(km/L)	比率
トヨタ・シエンタ	20.2	28.8	1.43
日産ノート	23.4	34.0	1.45
ホンダ・フリード	19.0	27.2	1.43
ホンダ・フィット	22.2	34.0	1.53
トヨタ・アルファード	12.4	19.4	1.56
ホンダ・ヴェゼル	21.2	26.0	1.23
スズキ・ソリオ	24.8	32.0	1.29
ホンダ・シャトル	22.0	33.2	1.51
スズキ・スイフト	24.0	32.0	1.33
日産エクストレイル	16.4	20.8	1.27

\*日本自動車販売協会連合会「乗用車ブランド通称名別順位」2019年8月実績上位モデルより抜粋

モーター・バッテリーを搭載しモーター単独で走行可能な領域が広いハイブリッド車の場合、同じ車種・排気量同士で純粋なガソリン車と燃費を比べると、カタログデータ上は多くの車種で1.4倍程度の開きがあります。

また実燃費も、上り坂あるいは巡航速度が100km/hを大きく超えるなど負荷の高い状況が続き、バッテリー残量が不足してモーターが使えない状態で長時間走ることがない限り、ガソリン車の燃費を下回ることはまずありません。

では、外部から充電可能なPHVやEVはどうでしょうか？ 公共の充電スタンドや会員制の充電サービス、夜間が安くなる家庭用電気、いずれも利用料金は上昇傾向にあるものの、それでもガソリンを給油した場合のおおよそ1/5前後に抑えられます。

これらの状況が、エンジンそのものの燃費向上や車両のダウンサイジング傾向、また消防法改正なども相まって、ガソリンおよび軽油の販売量減少、そしてガソリンスタンド(SS)の軒数減少につながっていることは、SS業界の皆様が一番よくご存じだと思います。

こうした中、SS過疎地問題対策を主眼として、消防法による規制の緩和に向けた取り組みが政府や業界団体などで進められていますが、一方でEV・PHV用の充電器を設置したり、SSを併設するサービスショップもすでにいらっしゃいます。

これは、事業多角化によるトータルサービスショップとしてのブランディングに加え、顧客との接触頻度向上によるサービス・車販収益アップ、そして顧客・従業員とのエンゲージメント強化が見込めることに、大きなメリットがあります。

**電動車は消耗品が減りにくい・少ない・単価が安い三重苦。対策は？**

他方、多くのサービスショップの皆さんにとって切実な問題となるのが、「消耗品の劣化が遅い」ということです。

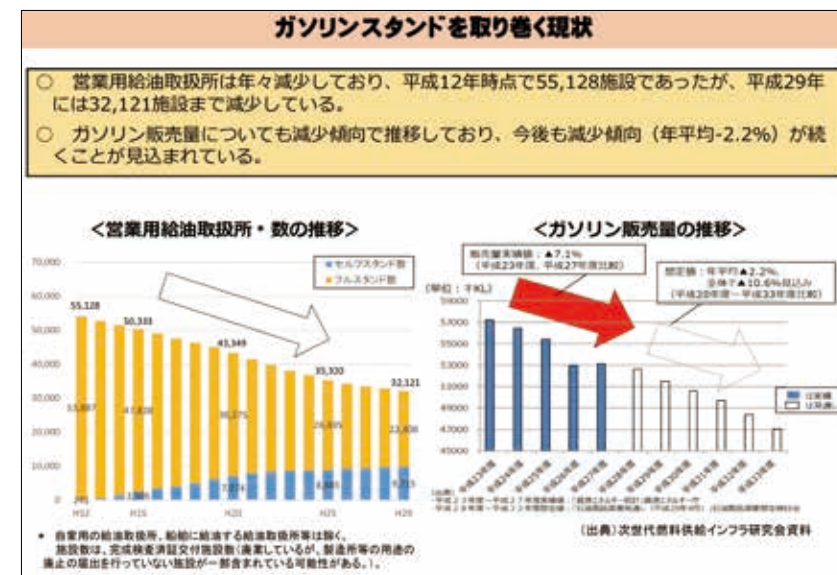
その最たるものは、ブレーキでしょう。走行時の運動エネルギーによってモーターを回転させることで、それを電力エネルギーに変換・回収＝発電・蓄電し、その際に車輪へ生じる回転抵抗を制動力

としても利用する「回生ブレーキ」を実装する電動車では、走行時の運動エネルギーを摩擦力によって熱エネルギーに変えることで減速する、従来の機械式ブレーキを使用する頻度・程度が激減します。

その結果、パッド・シュー・ローターの摩擦は大幅に抑えられるため、走り方によっては一度も交換する機会が訪れず、次のクルマへ代替することも珍しくはありません。

またタイヤも、転がり抵抗の低さを強く重視した銘柄および、幅が狭く内径が小さいサイズのを新車装着する傾向は、依然として残っています。そのためタイヤの摩耗が遅く交換頻度が減り、交換用タイヤの販売単価も低くなりがちです。

さらに、エンジンを搭載しないEVおよびFCVでは、定期的な交換が必要な消耗品そのものが激減します。具体的には、エンジンオイルおよび同フィルター、スパークプラグが存在せず、ATFやクーラントも基本的には交換不要です。また、排気系統および排ガス関連の定期点検も不要になります。



ガソリンスタンド数およびガソリン販売量の推移(出典:総務省消防庁「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」第1回資料1-3-1「検討の背景について」)

こうしたクルマの変化をただ見ていれば、電動車が普及するにつれてサービス収益が減っていくのは、火を見るより明らかです。

しかし、こうした電動車、特にハイブリッド車は、加減速の制御が複雑なことや、航続距離を稼ぐための様々な抵抗低減策などが災いして、快適性や運転しやすさが犠牲にされていることも少なくありません。これは従来のガソリン車、特に高級車やスポーツカーに乗り慣れたカーオーナーほど察知しやすく、長期間乗り続けるほど不満として蓄積されていきます。

これまた放置すれば「もうこんなクルマにはこれ以上乗ってられない」と不満が爆発し、他車(社)代替＝顧客喪失の憂き目に遭うのは避けられないでしょう。

そこで、こうしたカーオーナーの不満をきめ細かく拾い上げ、それを解消できる高付加価値なブレーキパッドやタイヤ、サスペンションなどを提案し、交換需要を喚起することで、サービス収益を確保しつつ、カーオーナーの満足度を高めていくことが肝要となります。



逆に言えば、このように「電動車の不満解消型チューニングのノウハウを持つサービスショップ」として自社を「ブランディング」していけば、顧客とのエンゲージメントを高めることも十分に可能となるのです。

### 電動車の楽しさを ブランディングに活かすには？

最後に、「③加速がスムーズで力強い」というイメージについてですが、これを実際に電動車に対して抱いている人はまだ、実際に電動車を所有あるいは運転したことのあるドライバーに限られるでしょう。むしろ電動車=エコカー=つまらないクルマ、という先入観を持つ人の方が今なお少なくないと思われます。しかしだからこそ、電動車を体験する機会を積極的に設け、より多くのドライバーに体験してもらうことに、大きな意義があります。

モータードライブの大きな魅力は、発進時から膨大なトルクを滑らかに発生することにあります。それは、自然吸気ガソリンエンジンはもちろん、昨今のディーゼルターボエンジンさえ凌ぐレベルで、静粛性が高い反面、音の量と質の変化に乏しいことを除けば、誰もがその虜



電動車はブレーキやタイヤなど消耗品の交換サイクルが遅いうえ部品単価も安く、ランニングコストが低い傾向にあるのは、カーオーナーにとってはメリットだが、サービスショップにとっては悩みの種

になると言っても過言ではありません。

さらに一部のモデルでは、回生ブレーキを強力に効かせられる走行モードを選ぶことにより、ほぼブレーキペダルを踏まずアクセルペダルだけで加減速をコントロールすることも可能なため、より高いレベルで意のままの走りを楽しむことができるのです。

こうした長所は、一般的な商談時のごく短い試乗でも体験



日産リーフe+のパワートレイン。ピュアEVのためエンジンは搭載されておらず、エンジンオイルやフィルター、スパークプラグも存在しないため点検・交換も不要となっている

することはできますが、代車に電動車を採用し、長期在庫車両のカーオーナーに貸し出して、あらゆる走行状況で体験してもらえば、より一層電動車への理解が深まるでしょう。

しかし、このイメージをブランディングに活用するには、これだけでは充分とは言えません。端的に言えば、より極限的な状況でその魅力を訴求することが、他社との差別化という点でも大きな効果を発揮します。

具体的には、EVやFCVはもちろん、PHVやストロングハイブリッドでも短時間ならEVモードで走り続けられる、ジムカーナ場やミニサーキットなど小さなクローズドコースでの走行体験イベントを定期的を開催するのが、直接的に販売促進へ結びつけるうえで最も効果的でしょう。

ですがブランディング、そして顧客・従業員とのエンゲージメント強化という点においては、電動車が活躍できるクラスのあるモータースポーツに参戦するのが一番です。これは、「最先端の技術に積極的に挑戦する」という企業姿勢を内外へ分かりやすくアピールできるだけではありません。

難易度の高い整備・修理を的確な判断のもと素早くミスなく確実にを行うことを、モータースポーツという他では得難い極限状況の中でメカ



写真のジムカーナなど小さなクローズドコースでの限界走行は、加速がスムーズで力強いというモータードライブならではの魅力を最も端的に味わえる状況のひとつ



回生ブレーキから機械式ブレーキに切り替わる停止直前などにギクシャクしやすい、回生協調ブレーキを実装したハイブリッド車向けの交換用ブレーキパッドも、一部メーカーで開発が進んでいる

ニックに経験させられることから、人材育成の面でも極めて大きな効果を発揮します。

今回は「Connected (コネクテッド)」および「Shared (シェアリング)」に関する現状を確認しつつ、それらをどのように自社の「ITによる訴求 (SNS) など」と「身近に感じる戦略」、そして顧客・従業員とのエンゲージメントに活用するかを考えます。(続く)



SUPER GTのGT300クラスに参戦するTOYOTA GR PRIUS PHV apr GT (写真は2019年シーズン参戦マシン)。トヨタカローラ三重の永井宏明社長がドライバーの一人として参戦し、社員のスキルアップを図るためチームメカニックに同社社員を派遣している



# お客様に、より来店しやすい立地・店舗を実現 スピーディ・正確なサービスで顧客サポート

三重県内に12拠点を展開する(株)スズキ自販三重ではこのたび桑名市内のアリーナ江場店を移転新築し、新たにアリーナ桑名店としてスケールアップを実現。旧店舗での悩みであったアクセスの不便さも解消し、規模、サービス体制ともに充実した来店型拠点としてオープンしました。



大垣方向に向かう「大桑道路」に面した新店舗



国道からのアプローチも入りやすく



巨大なサインボールで店舗をアピール



執行役員 サービス部長  
小俣 正樹 氏



工場長  
酒井 堯行 氏

## 新店舗のアピール効果で開店以来の大盛況

三重県の北部に位置し、愛知県と境を接する桑名市は、名古屋、四日市への交通の便もよく、産業都市として、またベッドタウンとして発展しています。

新たにオープンしたアリーナ桑名店は桑名市内と大垣市を結ぶ「大桑道路」に面し、国道1号、名四国道からのアクセスも抜群の立地です。旧店舗では間口も狭く、お客様の来店時に駐車場に入るのも不便であったことから、お客様により来店しやすく、居心地の良い新店舗が懸案となっていたそうです。

7月下旬のオープニングイベントではあいにくの天候にもかかわらず大盛況だったとのこと。「お客様も新店舗の完成を待望されていたのだと痛感しました」と執行役員サービス部長の小俣正樹氏。「来店されるお客様は皆、



ショールーム入口。  
右奥は納車ルーム



フロントと待合コーナー、右の窓は納車ルーム



大きくガラス張りとしたショールーム



パステルカラーの  
調度で明るく



大型モニターを備えた商談コーナー

明るくきれいな店舗にびっくりされています」と、新店舗のアピール効果も絶大のようです。

## 指定工場としてサービスもステップアップ

新店舗ではサービス工場も従来の3ストールから2倍以上の規模に拡充され、それと同時に認証工場から指定工場へと格上げされています。主な設備は7ストールにタンDEMリフトが6基、ワークステージXリフトが1基。検査ラインにはトリプルテスター、ワークステージXリフトなどのほか、コンピュータ車検システム「ネットワーク」を導入。また洗車場には6本ブラシで省スペースを実現した門型洗車機「エミネントレボリューション」のほか手洗い洗車場も1ストール設けられています。これら各種の効率化機器の導入により、サービスの省力化、効率化を図る一方、スポットエアコンの導入など快適な作業環境を実現されています。



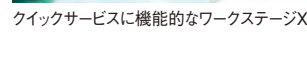
7ストールと右奥に検査ライン



ストールごとにスポットクーラーを完備



タンDEMリフト6基で迅速、確実な整備を実施



クイックサービスに機能的なワークステージX



検査ラインにはネットワークシステムを導入

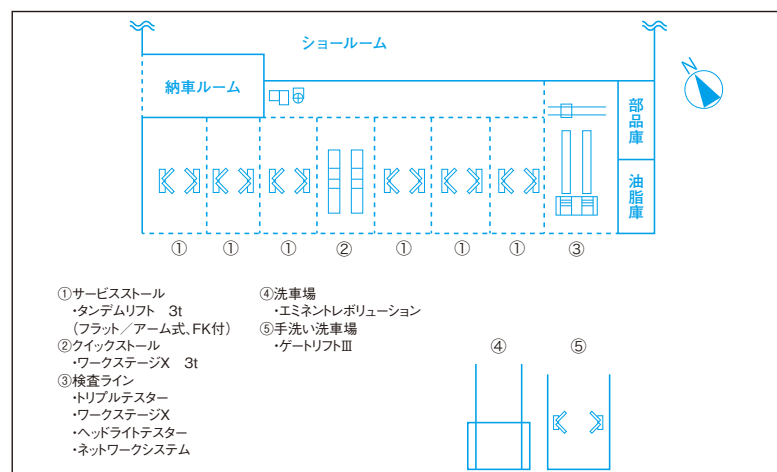


専用の納車ルームで  
プレミアム感を演出



6本ブラシで省スペースの  
「エミネントレボリューション」

手洗い洗車場にはゲートリフトⅢを  
設備





# 大型店舗化により広範な集客効果を図る 古都・京都にスバル新拠点が誕生

近畿圏の1府3県をエリアとする近畿スバルグループの京都スバル自動車(株)では、このたび京都市内北部の2店舗を統合して移転新築し、新たに五条店としてオープンしました。店舗、サービス工場もよりスケールアップし、京都市中心部から北部エリアまでをカバーする販売・サービス体制を実現しています。



五条店の外観。店舗左のキャンピーが入口



交通の繁多な五条通に面した立地

## 2拠点を統合、スケールアップ

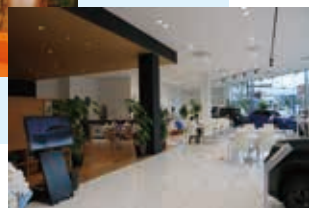
京都市の中心部を東西に横切る五条通りと、交差する西小路通の東南角に完成した新店舗は、古都京都の街並みに調和したシックなグレーの外観が印象的です。今回統合された北白川店と金閣寺店の2店舗は地域的に建築面での制約もあり、手狭であったことから今回の新店舗が計画されたとのこと。五条通りの向い側には大型ショッピングモールもあり、お客様の来店にも便利な立地です。「旧店舗のお客様からは若干距離が遠くなってしまったのですが、その分来店しやすく居心地の良い店舗にとソフト面の対応を心がけています」と同社サービス部品部カスタマー課課長の栗飯原靖氏。新しい店舗で敷居が高くなったと感ぜられることのないよう、対応にもきめ細かい気配りをされているそうです。



白を基調とした明るいショールーム



待合コーナーは落ち着いた雰囲気に



左の待合コーナーは木の質感のデザインに



店長  
岩本 尚也 氏



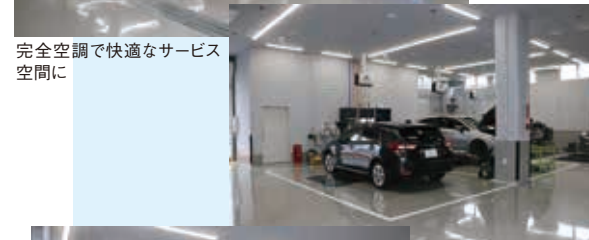
サービスマネージャー  
磯部 浩明 氏

## 快適・クリーンな屋内サービス環境を実現

新店舗奥のサービス工場は8ストールに検査ラインと洗車場を併設、快適な環境でサービスが行える屋内型サービス工場です。主な設備はタンデムリフト7基、フラットワークステージX1基をはじめ、将来的な入庫増にも対応できる効率化設備を導入。検査ラインには固定式フリーローラー、ネットワークシステムが導入されています。また洗車場には門型洗車機「エミネントδ」および固定式下部洗浄装置を設備し、床面には水はねがなく作業性の良いFRPグレーチングが敷設されています。また工場内全体をクリーンで快適な環境に保つ空調設備と、入出庫の際に素早い開閉が行えるスピードシャッターにより、四季を通じて快適な室内作業空間を実現されています。



完全空調で快適なサービス空間に



タンデムリフトで作業性、効率アップ



壁面のキャビネットで整理整頓を徹底



検査ラインにはネットワークシステムを導入

## 「あたたかいお店づくり」がコンセプト

開店にともない9月上旬から開催されたグランドオープンフェアも大盛況だったとのこと、「まずは既存のお客様に一度ご来店いただいて、新店舗を体感していただきたいですね」と店長の岩本尚也氏。従来の店舗にも増して「あたたかいお店づくり」をコンセプトにおもてなしの接客対応を実施されているとのこと。新店舗のアピール効果はもちろん、「サービス工場をご覧になって、清潔さと環境の良さに「これが工場?」と、びっくりされるお客様も沢山いらっしゃいます」と岩本店長。最新の設備環境、充実したサービス環境を、さらにお客様の信頼と満足度向上につなげることがサービスの目標とされています。



アライメント仕様ワークステージXも導入



固定式下部洗浄機、門型洗車機で洗車作業も省力化



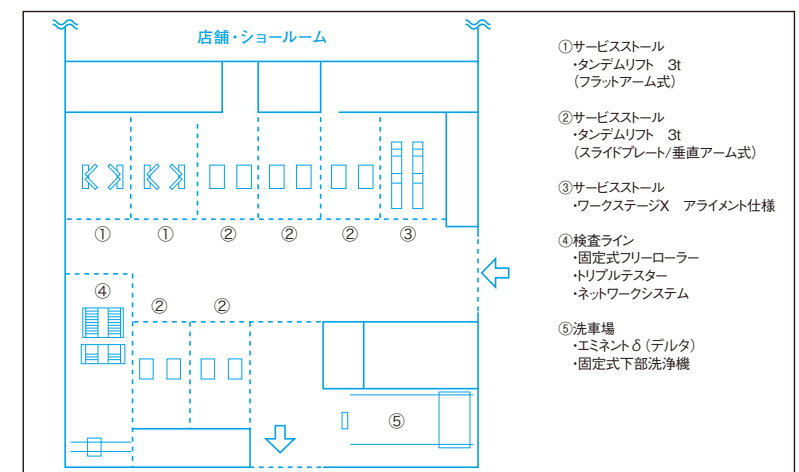
オイルサーバー・ドレンボックスも2個所に設置



埋設排気装置も屋内サービスに不可欠



スピードシャッターは入り口、出口の2個所に設備





# 食品物流を担うトラックの安全運行をサポート、最新のサービス環境で的確なサービスを提供

関東、首都圏を中心に物流ネットワークを展開するアサヒロジスティクス(株)のグループ企業、アサヒオートサービス(株)では、本社、埼玉県比企郡の滑川工場に続く第二のサービス拠点として、このたび千葉県柏市に柏工場をオープン。安心、安全の輸送業務を支える、迅速、確実なサービス体制を実現しています。



シンボルデザインの「オリガミ」をアレンジした外観



工場長  
嶋崎 昌行 氏



柏工場の外観。柏営業所に併設



ストール幅6m、奥行き20mと余裕のスペース

## 物流の基盤を担うトラック整備を提供

同社の母体であるアサヒロジスティクスは、大手スーパー、コンビニ、外食産業などへの食品輸送に特化した「食品物流のエキスパート」として、関東、東北エリアを網羅する独自のネットワークを展開。メーカーからの入荷、顧客店舗への出荷、配送まできめ細かい物流サービスを提供しています。

アサヒオートサービス社ではこうした食品物流のインフラを担うアサヒロジスティクス社のトラック車両を中心に、点検、車検サービスを手掛けています。

新たに完成した柏工場は柏市南部の沼南工業団地の約3,500平方メートルの敷地に、これも新たに開設された柏営業所に併設されたもので、千葉、松戸、船橋、柏の4拠点の車両サービスに対応しています。



キャタピラツインIIミニは軸間距離最大7メートルまで対応



4柱式キャタピラツインで前後2台の整備も可能



タンデムリフトで乗用車の整備に対応



ハイブリーダーでブレーキ液交換も容易に

## 余裕のサービス空間で作業効率をアップ

新たに完成したサービス工場は3ストールと洗車場からなり、各ストールの奥行きは20メートルと、余裕の広さで作業性の向上を図っています。主な設備は大型整備ストールに4柱式キャタピラツインII1基、中型整備ストールにキャタピラツインIIミニ1基を導入、また小型車整備ストールにタンデムリフト1基を設備し、小型車から大型車までの幅広いサービスに対応しています。

とくに大型車ストールは4柱式キャタピラツインを活用し、とくに中心的な入庫車両である3トン～4トンの小型・中型トラックならば前後に2台リフトアップでき、繁忙期にも対応できるキャパシティを実現しています。

## 食品物流の安全運行をサポート

とくに食品の輸送業務にあたるトラックが主体であることから安全運行、定時運行が不可欠となります。そのためサービスにあたっては「路上故障ゼロを目指して正確に、確実に、が基本です」と工場長の嶋崎昌行氏。的確な計画入庫により全ての管理車両の安全運行をサポートしています。



ランドリー、ドレンカートなど大型車整備に必須の周辺機器も完備



ドレンボックスで廃油、廃LLCを回収



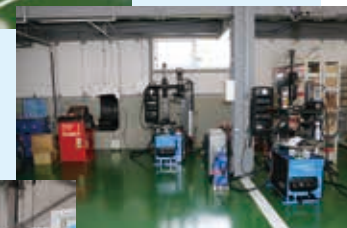
大型車用タイヤチェンジャーも完備

同社のスローガンである「人と車のハーモニー」は、顧客、ドライバーまですべての人に安全・安心を提供するサービスを目指したものとイえるでしょう。

新工場の完成により清潔で明るく快適な作業環境が実現し、毎日の清掃作業の励行など働くメカニックのモチベーション向上にもつながっているようです。



3ストールで小型～大型車までのサービスに対応



小型タイヤチェンジャーは2台導入



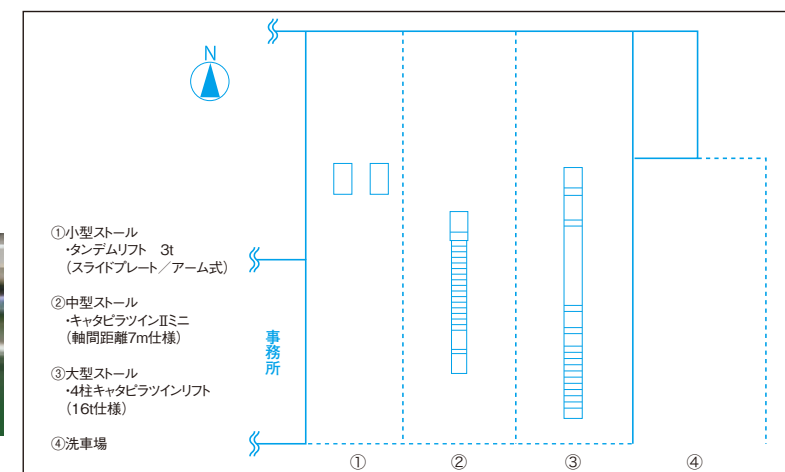
車両前部の空間を広くとり作業性を向上



食品輸送のトラックのため洗車も重要なサービス



駐車場中央の自家給油設備





# SHOW ROOM

## 【移動式リフト】大型車用移動式リフト RAV308HWS

大型トラック・バスの整備作業をサポート!  
イタリア・ラバリオリ社製の移動式リフト

能力 **8.0t** 揚程 **1,815mm**

ワイヤレス仕様

高い安全性・優れた安定性

トラック・バス・連節バスに対応

設置工事・ピット工事が不要

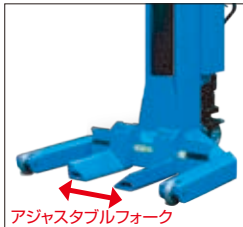


- 設置工事、ピット工事が不要
- ・設置工事が不要で導入費用を大幅に削減
- ・油圧牽引ジャッキ付、1人で移動が可能
- ・十分な強度の平らなコンクリート床面ならどこでも使用可能
- ※床コンクリート厚160mm以上必要

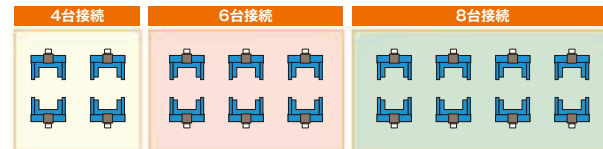


- 通信・駆動はワイヤレス
- ・リフト(コラム)間の通信は無線で接続し同調を行います
- ・リフトの駆動電源は充電式バッテリーで、使用時の配線も不要
- ・バッテリーは充電状態で約20回の使用が可能(※)
- ・各リフトに充電器を内蔵(フル充電まで約10時間)
- ※負荷により使用回数は異なります

- アジャスタブルフォークを標準装備
- ・タイヤ外径500~1,200mmの範囲で調整できる、アジャスタブルフォークを標準装備



- 4・6・8台まで同時接続が可能



※6台接続・8台接続につきましてはお問い合わせください。  
※一部車種によってはリフトアップできない場合があります。

型式	RAV308HWS(4台接続)
能力	8,500kg(1柱当り) × 4
揚程	1,815mm
適用タイヤ外径	500~1,200mm
上昇時間(参考値)	約120秒
下降時間(参考値)	約75秒
本体重量	670kg(1柱当り)
電源	駆動 24V(12V 100Ah バッテリー×2)(1柱当り)
	充電 AC200V 単相 12.5Aコンセント×リフト台数分必要
コラム間接続	無線方式(Bluetooth)
移動方式	油圧ジャッキ式

# SHOW ROOM

## 【移動式リフト】小型車用移動式リフト RAV1450N

タイヤ交換・オイル交換・バンパー脱着作業などに最適!  
イタリア・ラバリオリ社製

能力 **3.2t**

揚程 **900mm**

最低高 **100mm**

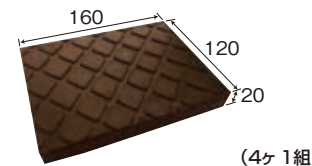


- 薄型プレートを採用、最低高さ100mmで乗込みもらくらく
- 乗り込みフラップはプレートの延長として使用可能
- 付属のモバイルキットで移動もらくらく



モバイルキットでの移動イメージ

標準付属アタッチメント



型式	RAV1450N
能力	3,200kg
対象車種	軽~普通乗用車
本体寸法	1,945(L) × 1,740(W) × 100(H) mm
テーブル寸法	1,420~1,950(L) × 420(W) mm
揚程	900mm
電源	AC200V 三相 2.6kw
安全装置	ラッチ式機械ロック、急降下防止バルブ 他
上昇時間(参考値)	約22秒
下降時間(参考値)	約15秒
使用オイル	タービン油(#32) 3.5L
本体重量	約405kg

※一部車種によってはリフトアップできない場合があります。  
※洗車、塗装、サンディング作業は不可。

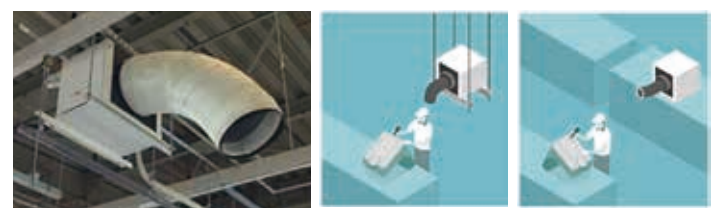


# SHOW ROOM

## 【空調システム】ダイキン・マルチキューブエアコン FSXYP28B

設置自由度が高く、ダクト工事が不要  
サービス工場に最適な空調システム

- 1台の室外機で複数の本体を制御、快適作業をサポート
- 1台ごとに温度・風量の設定が可能
- 従来のダクト工事が不要、高い設置自由度を実現!
- 本体からの排気熱が一切出ないため、地下ピット内への設置も可能
- 大型プロペラファンを採用、離れた位置まで心地よい風を送風



型 式	FSXYP28B
本 体 寸 法 (mm)	455 (H) × 555 (W) × 470 (L)
ファン風量 (強・弱) (m³/min)	15/15 ・ 12/11
冷 房 能 力 (kW)	2.8
暖 房 能 力 (kW)	3.2

## 【タイヤゲージ】ゲージポータルEX AGE-600シリーズ

視認性・作業性を向上  
女性にも握りやすく、グリップ力を軽減

- 新型目盛を採用、測定値の読み取りやすさ、視認性を向上
- 握りレバーの形状変更により握りやすさを向上
- 測定範囲 30~600kPa
- ホース長 400mm



- ・AGE-600-B62  
タイヤバルブに押し込むだけでロックするワンプッシュチャック
- ・AGE-600-452  
先端が細く、様々なホイールに対応
- ・AGE-600-870  
小口径ダブルチャック、乗用車~小型トラックまで幅広く対応



# SHOW ROOM

## 【ブレーキ粉塵クリーナー】中型車用ブレーキダストクリーナー BDC-380-U

ブレーキ粉塵の飛散を防止、  
作業の効率化と作業環境改善に!

- 集塵カバーをブレーキドラムやハブホイール部に密着させてエアブロー、粉塵は集塵機で回収、工場内への飛散を防止
- パーツクリーナー等を使用することなく、簡単にブレーキの清掃作業を行えます
- 既に集塵機(TC-03HD)をお持ちの場合は集塵ケース単体として手配してください

型 式	BDC-380-U	BDC-380
集塵カバー対象径	380mm以下	
集塵カバー対象長さ	330mm以下	
ホース接続口径 (mm)	φ38	
使用エア圧力 (MPa)	約0.8	
本体重量 (集塵カバー部) (g)	約950	
集 塵 機	無	付



写真はBDC-380になります。

## 【カーオーナー・整備工場誘客システム】リンクドライブ・プロ LKD-P

クルマとカーオーナーにピンポイントでつながるコミュニケーションツール

お客様の車両OBDに車載コネクタを接続、  
クルマのさまざまな情報をクラウド上に蓄積・自動解析し、マイカーのコンディションをスマホアプリで「見える化」するサービスです

- LINK Drive【カーオーナー向け】
  - ・専用のOBDIIコネクタをクルマに差してペアリングするだけでマイカーのコンディションをスマホでチェック!
  - ・それぞれの部品の交換時期がひと目でチェックできるのでメンテナンストラブルを未然に防ぐことができます。
  - ・毎日の走行で変化するクルマの状態や乗り方をチェックすることでかしく乗ることができます。
- LINK Drive PRO【整備工場向け】
  - ・LINKDriveコネクタを装着しているクルマのリアルタイムの車両・走行データを取得できます。
  - ・車両の解析結果をタイムリーに受けられるので、お客様一人ひとりに合わせたニュース配信ができます。
  - ・カーオーナーにポイントやクーポンを提供できるので、効率的に集客できます。





## YASUI 進化する自動車技術に向けて 最新リフトを設置した「研修センター」を開設



富士宮市内に完成した(株)YASUI研修センター

バンザイの各種リフト、ジャッキなどの自動車整備機器メーカー(株)YASUIでは、このたび同社の主要なリフト14機種を設備した「研修センター」を富士宮市内に開設しました。  
バンザイでは開設に先立って同研修センターの設備概要について社内見学会を開催しました。



同社の主力14機種をワンフロアに展示

### 主力リフト14基を一室に設置

この研修センターは同社第3工場内に建設されたもので、2柱リフトではゲートリフト2機種、4柱式のワークステージF、パンタグラフ式ではイーグルリフト各機種、ワークステージXなどのほか、本年のオートサービスショーで参考出品されて注目を浴びたパンタームリフトも設備するなど、同社の主力機種を網羅したものとなっています。



薄型プレートタイプで乗り込みの容易なイーグルIIと3t仕様ワークステージX



5t仕様フラットワークステージXとフラットワークステージX



天井走行クレーンも2基導入、各種研修、研究開発等の活用にも期待

## 社内外に向けた活用に期待

同研修センターは同社内での社員教育や各種の研究開発のほか、協力会社や販売会社などに向けた研修活動への活用も目的とされています。

社内的には76年にわたって培った技術の継承とともに、急速に進化する自動車のサービスに対応する新技術の開発が不可欠とされています。また対外的には同社の各種リフトの特性や機能について理解を深めて頂くことが目的となります。



フラット化で作業性を追求したイーグルFX



ロールカーテンで安全性と美観に配慮したフラットワークステージX



オートサービスショーで注目を浴びたパンタームリフト

## ニーズ変化をとらえた開発・提案に

同社では、同研修センターの完成により実車を使用した各種リフトの特性の検証・確認が可能となることから、さらに変化市場ニーズを踏まえたリフトの開発・提案につなげたいとのことです。



LED照明で作業性を向上したイーグルFX



ニーズをとらえた開発・提案にも期待が寄せられる

## 編集後記



10月に入り過ごしやすいく陽気になりました。行楽やレジャー、スポーツなど、様々なことをするのにちょうどよい季節ですね。  
秋は展示会シーズンです。弊社としましては新商品のご提案はもちろんのこと、整備機器による事故撲滅

## <連見>

を目的とした安全啓蒙活動にも力を入れており、各展示会でご案内させていただいています。  
お近くで展示会が開催される際は是非ご来場ください。心よりお待ちしております。